

事務事業評価資料

施策名		青少年の健全育成の推進		所管部局課名	企画県民部県民文化局青少年課					
事業名		「若者ゆうゆう広場」の推進		担当者電話番号	育成事業係 078-362-3143					
事業目的		若者が気軽に立ち寄り、集まった仲間と交流すること等を通じ、くつろいだ雰囲気の中で人間関係を紡ぐことができる居場所づくりを支援することにより、若者の社会性を育む。								
事業内容		広場の運営支援(補助期間:5年間、平成19年度年間20万円、平成20年度以降年間16万円、但し最終年度は10万円、補助率:10/10) 居場所づくり推進員の設置 情報誌の発行			事業開始年度	平成15年度				
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額				
	事業費	(11,500 千円) 11,500 千円		(7,812 千円) 7,812 千円		(6,008 千円) 6,008 千円				
	人件費	1,783 千円	従事人員 0.2人	1,694 千円	従事人員 0.2人	1,672 千円	従事人員 0.2人			
	総コスト(+)	13,283 千円	従事人員 0.2人	9,506 千円	従事人員 0.2人	7,680 千円	従事人員 0.2人			
事業の目標		若者が気軽に立ち寄り、集まることのできるよう、全市域での広場開設をめざす			[目標設定理由]都市部における若者の居場所づくりが喫緊の課題であり、より身近な地域での居場所を提供するため					
目標の達成度を示す指標		指標名		目 標			達成率(%)			
		ゆうゆう広場開設市町数		目標値	年度	19年度実績	20年度見込み	21年度目標	H19	H20
		全市域で展開(29市)		19年度	26市 [35市町] (511千円) [380千円]	24市 [33市町] (396千円) [288千円]	24市 [33市町] (320千円) [233千円]	89.7 [120.7]	82.8 [113.8]	82.8 [113.8]
評価結果	必要性	・地域で若者が自由に集い、異なる世代や学校間での交流等を行える場が少なくなっている中、地域の特性や若者のニーズを踏まえた体験活動等を通して、社会性を育める場を県が先導的に提供することは必要である。								
	有効性	・現在、県下24市域で設置・運営されており8割以上の達成率となっており、郡部での事業展開ニーズもあり、町域を含め県下各地域に広がっている。また利用者数は平成19年度実績で約156,000人と、年々増加傾向にあり有効な事業である。 (H18年度約131,000人)								
	効率性	・県が直接運営するのではなく、地域の実態を熟知し、若者の居場所づくりのノウハウを持つ団体の運営を県が支援する手法を取ることにより、自主運営を基本とした体制への移行を進めている。 ・自主運営に向け段階的に運営費支援を削減するなど、コスト削減を図っており、効率的に事業実施している。								
	民間・市町との役割分担	・助成期間を立ち上げ時の5年間とした先導的なモデル事業であるため、県の役割として実施している。 ・今後はその定着状況を見極めながら、民間・市町による自主・自律的な開設・運営を働きかけていく。								
	受益と負担の適正化	・県が青少年団体、NPO等と協働して実施しているモデル事業であることから、県費で運営費助成等を行うことは適正である。								
実施方針	方向性	新規 廃止	拡充 縮小	継続 統合	凍結(休止)	実施手法の見直し 延長		終期設定		
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他		
説明	モデル事業として助成期間を5年と設定していることも踏まえ、各青少年団体等による、一層の自主的・自律的な運営を促進するため、より効果的な支援方策について検討を進める。									